

令和5年度 椎葉村立椎葉小学校 「学校評価」アンケートにおける自己評価・学校関係者評価書

(4段階評価) 4:とてもそう思う(A) 3:そう思う(B) 2:そう思わない(C) 1:全くそう思わない ■:わからない(評価できない)

本年度の努力目標

(1 夢いっぱい「学力及び学習意欲の向上」 2 笑顔いっぱい「心の育成」 3 元気いっぱい「体力の向上及び健康教育」 4 家庭や地域との連携・協働「学校運営協議会との連携、地域に開かれた学校づくり」)

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果のコメント	自己評価	学校関係者	関係者評価コメント
夢いっぱい 学習指導	① 学習環境や教材を効果的に活用し、児童の学力や学習意欲の向上に努める。 【指導内容の精選、具体物の活用とICTの効果的活用】 ② 個に応じた指導や協働的な学習の充実に努め、わかる・できる喜びを実感できる授業に努める。 【主体的・対話的で深い学びの実現、集合学習】 ③ 授業を通して、基本的な学習態度と学習習慣の育成に努める。 【チャイム黙想、立腰指導、学び合いのルール】 ④ 全教育活動を通して、夢や希望をもって努力し、意欲をもって学び続ける児童を育成する。 【キャリア教育の充実】 ⑤ ふるさとの良さに気付き、ふるさとを愛する心の醸成を図る。 【地域教材や地域人材の活用、伝統文化の伝承活動、椎葉学の充実】 ⑥ 家庭との連携を行い、発達の段階に応じた家庭学習支援の充実に努める。 【段階的な家庭学習の在り方(タブレット持ち帰り)】	○ 「学力及び学習意欲の向上」については、6項目8割の保護者から「とてもそう思う」「そう思う」と好意的な評価を得ている。 ○ 普段の授業で、教室や教材、ICTを活用しながら、児童が分かるまで教えたり、友だちと意見を出し合ったりする授業を継続していることが要因と考える。 ○ ⑤においては54.1%の保護者が「とてもそう思う」と回答しており、今年度から実施の「椎葉村学」での学びや地域人材を活用した学びが評価を得ていると考える。	3	4	○ 「夢・笑顔・元気」というキーワードが、しっかりとおさえられている。それは学校内外のチームワークだと思ふ。 ○ 先生たちの授業を観ていて、子どもたち主体の手立て(めあての設定等)やきめ細やかな支援や優しく手を差し伸べる姿があって子どもたちの心身のたくましさに繋がっていると思う。 ○ ユニット学習のハード面・ソフト面の整備もよい影響となっている。 ○ 体験活動を経た学びは、特に椎葉村学は意義がある。今年度の椎葉小を見ていて、強みある先生方が多い。
笑顔いっぱい 生徒指導	① 生徒指導体制の充実を図り、「椎葉っ子5つの約束」「椎葉小学校『よい子の一日』」に基づいた生活態度の育成に努める。 【あいさつ、清掃、廊下歩行】 ② 全教育活動を通して、相手の立場を尊重する心の育成や人権意識の高揚に努める。 【丁寧な言葉づかい、人権教育の充実、JRC活動、体験学習】 ③ 児童を理解し、一人一人の自主性と個性の伸長に努める。 【教育相談の充実、家庭との連携】 ④ 特別な支援が必要な児童に対する支援の充実に努める。 【特別支援教育に関する会議等の充実、家庭・関係機関との連携】	○ 「心の育成」については、3項目で8割の保護者から「とてもそう思う」「そう思う」の評価であった。 ○ 今後は基本的な生活習慣を示した「椎葉っ子5つのやくそく」を活用した指導・支援を行うと共に、啓発に努めていきたい。また、生徒指導部と児童の委員会とであいさつに取り組んでいるところであり、会釈等で向上しつつあるところである。	3	4	○ 学校がどのように児童と関わっているのか、分かっている。先生方は普段から小さな言葉を大切にしておられ、細やかな対応をしておられます。 ○ SNS等、インターネット等については、健康を害するのはダメだが、今後より重要性や価値が上がり、「当たり前」「欠かせぬもの」になる。どう使うのかがカギではないか。
元気いっぱい 保健体育	① 体力向上プランをもとにした体育指導をはじめとして、体育に関する行事等を通して、力の向上に努める。 【体力づくり(持久走や縄跳び)、外遊びの奨励】 ② 健康教育を推進し、心身ともに健康の保持増進に努める。 【早寝・早起き・朝ごはん運動、学校保健委員会の充実、熱中症防止、感染症対策】 ③ 校内の安全管理に努めるとともに、安全指導の徹底を図り、危険予知能力と危険回避能力の育成に努める。 【防災教育の充実、定期的な安全点検】 ④ 食育プランをもとに、望ましい食生活の習慣化を図る。 【給食指導の充実、家庭との連携】	○ 「体力の向上及び健康教育」については、4項目とも9割前後の保護者から「とてもそう思う」「そう思う」と好意的な評価を得ている。要因として欠席日数の減少や虫歯治療率100%につながったと考える。 ○ 体育的行事や日常の体力向上の活動を継続していく。	3	4	○ 大切なのは「健康」「(人としての)中身のあるなし」と思う。例えば、添加物のものばかりを食べている健康にはなれない。季節の旬のものを口にする...椎葉は適している。その積み重ねで健康となり、たくましさも養われる。
家庭や地域との連携・協働	保護者(地域)が「通わせたくなる」学校 ① 保育園や中学校と連携した教育を推進する。 ② 椎葉村学コーディネーターや学校運営協議会を効果的に活用、運営する。 ③ 学校通信や学校ホームページで、学校の情報を積極的に発信する。	○ 学校通信・学校ホームページ等による情報発信や、保護者・地域との連携による教育活動の推進については9割以上の保護者から「とてもそう思う」等の好意的な評価を得ている。 ○ 保護者は、ふるさと椎葉から学んだり、PTAや地域と協働的に活動したりすることを通して、本校が目指す「地域と共にある学校」「我が学校」と認識されつつあると考えている。	3	4	○ 地域とのつながりは大切だ。また、子どもも保護者も先生を尊敬、たてる姿勢が大切だと考えている。 ○ 人口減少・異常気象・AIといった予測不可能な時代に生き残れるのか?そこで、「蜂の子」。高タンパクで栄養素も高く高級食材であるが、食べた経験のない人が多い。つまり、経験がある、なして生き方が大きく変わると思う。

【次年度に向けて】

- 1 夢いっぱい「学力及び学習意欲の向上」
 (1) 授業におけるICTの効果的活用の更なる推進 (2) 習熟タイムにおける学習の充実 (3) 家庭学習におけるタブレットの持ち帰りによる習熟の実施 (4) 教師相互の参観授業の日常化
- 2 笑顔いっぱい「心の育成」
 (1) 家庭と連携したあいさつの推進 (2) 「椎葉っ子5つのやくそく」を基にした基本的な生活習慣の定着
- 3 元気いっぱい「体力の向上及び健康教育」
 (1) 全員出席する日数増加の推進 (2) 虫歯治療率の維持 (3) 児童の危険予知能力と危険回避能力を高める避難訓練の工夫
- 4 家庭や地域との連携・協働
 (1) 教育目標の変更 (2) 学校運営協議会との更なる連携強化 (3) PTA 三役会・理事会との連携・協働 (4) ウェルビーイングな学校づくり (5) 校務に係る文書作成データの一元化によるペーパーレスの推進